

第 64 回 愛知県河川整備計画流域委員会 議事抄録

<山王川流域（第 3 回）>

日時：平成 30 年 8 月 10 日（金） 16 時 00 分～17 時 00 分

場所：愛知県庁 6 階正庁

◇議題

山王川流域（第 3 回）

- 前回委員会での意見と回答
- 住民アンケートの結果について
- 河川整備計画（原案）について
- 質疑

◇質疑

【委員意見】

地形・地質というのがどこでも出てくるのだが、西日本豪雨で真砂土のところが崩落して、土石流で災害が起きた。5分の1にしる30分の1にしる、川を整備してもあのような災害が起きたら全部埋まってしまう、流れてしまうというようなこともある。地域の流域の概要で地質を述べるのであれば、河川の流域はそういった危険性が高いとか高くないとか、そういったことも含めて記述されるのが時流に合っているのではないか。

【事務局回答】

例えば文献とか研究成果等を調べて、ここに危険度の判断といったところまで書けるか検討したいと思う。地質だけではなく、例えば地形だとかそういったものもかかわってくるので、どのような記載ができるかというのは検討したい。

【委員意見】

有用な情報はできるだけ提供するのがいいと思う。

【委員意見】

原案の8ページに動植物の生息・生育状況ということで重要種が幾つか上げてあるが、知多の川ではこういうのはあちこちで絶滅寸前というか、もう絶えてしまったような川も幾つかあるようなので、整備されるときにはこういうものの生息環境に留意した整備をしていただきたい。

【事務局回答】

山王川については河川改修を予定しているので、重要な生物、それから、多様な生物の環境の保全や再生といったものはしっかりしていきたいと考えている。

【委員意見】

動植物の生息・生育状況がマニアとかに流れるとすぐとられてしまうような時世でもあるので、詳しい場所の情報などは、情報公開とは裏腹になるが、はっきりと記載しないようにしていただきたい。

【事務局回答】

貴重な種の具体的な生息場所等、調査はしているが、そういったものの取り扱いについても十分注意して河川管理等行っていきたいと考えている。

【委員意見】

治水安全度を超えるような洪水や高潮、津波のところだが、山王川、石川、天白川と少しずつ違う。一字一句同じにすることはないけれども、内容的には全部同じような内容にしておいたほうがいいと思う。

【事務局回答】

整合性の課題や、書き方が不足した部分等がある。一方で、その川の特徴などを含めた話を吟味するところがあるので、一度直して、またアドバイスをお願いしたい。

[了]